

石倉カゴウナギ調査マニュアル

参加者全員が調査内容を把握し測定方法を明確にすることによって、調査内容のばらつきを防ぎ調査の信頼度を向上させる。

○調査内容等について

- ・調査地点、天気、気温、水温を記録
- ・採捕した生物の種類、体長、体重を記録
- ・測定器具…体長測定器、デジタル重量計 デジタルノギス
- ・調査に必要なもの…胴長、手袋、バケツ、記録用紙、筆記用具

○測定方法

- ・魚種（ウナギ、カワアナゴ、マハゼ、ボラなど）の体長、体重を記録する。

ウナギは全て測定する

ハゼの仲間では不確定の個体はハゼ科とする。ボラの仲間はボラ科とする。

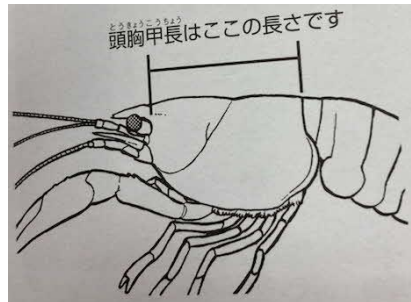
カワアナゴでは不確実な個体はカワアナゴ属とする。

その他は30個体まで測定する。30個体を超過した種については、超過分の合計の個体数、合計の重さを記録する。

- ・甲殻類

テナガエビ、ミナミテナガエビ、スジエビ、ミズレヌマエビなどエビの仲間はそれぞれ30個体まで体重、体長、頭胸甲長（※）、体長を記録する。30個体を超過した種については、超過分の合計の個体数、合計の体重を記録する。

※頭胸甲長…『池の水なぜ抜くの?』（安西 俊/著・絵 くもん出版）から抜粋



カニの仲間は体重、甲羅長を測定する。

体長は0.1mmまで記録する。体重は0.1gまで記録する。

- ・名前がわからない種については不明として記録する。神奈川県水産技術センター内水面試験場の勝呂尚之氏に同定を依頼する。

○麻酔薬（主にウナギの測定時を想定）

測定時には麻酔薬FA10を使用する。

水2,000ml～5,000ml（2L～5L）に対して、麻酔薬1mlの割合で希釈して使用する。

麻酔薬の効く濃度の閾値が狭いので、麻酔薬は魚の状態を確かめながら数回に分けて加える。